



うぶやまの風



産山学園HPも随時更新

3つの合い言葉

〈学校教育目標〉 学び**合い** 支え**合い** きたえ**合う** 産山の子ども
 ～「合い」とは仲間との高め**合い**、集団の中での育ち**合い**、教育的**愛情**による導き～

放送大学より取材がありました

本校の特色ある教育活動を大学の授業の教材にしたいと放送大学から依頼があり、11月28日(火)取材が行われました。この日は、地域のお年寄りを招いての子どもヘルパー活動、英会話科の授業、チャレンジ学習の様子を取材されました。

他の地域にはない特色ある活動に法政大学の仲田先生が注目され、産山学園の取組みを教材化されます。

子どもヘルパー活動は、体操班、ユニバーサルデザイン班、コミュニケーション班に分かれ、産山のお年寄りとしっかり交流が行われ、その様子を取材されました。本校の教育が全国的にも注目され、光栄に思います。



演奏家派遣アウトリーチ事業を実施しました



アウトリーチ事業とは、熊本県立劇場と市町村が共催で演奏家を派遣し、学校や福祉施設などへの出前授業を実施するものです。ホールや体育館での「学校鑑賞会」ではなく、教室等で演奏家が音楽の先生として直接語りかけながら、子どもたちに音楽の魅力を伝えることを目的にしています。

今年も産山学園が選ばれ、11月28日(火)～30日(木)の3日間、箏演奏家 小路永和奈さんを産山学園にお迎えし、箏の演奏を楽しみました。目の前で演奏される箏の音色に学園生は魅了されていました。

令和3年度もアウトリーチ事業として演奏していただきました。産山学園との縁を感じます。小路永さんに感謝申し上げます。

